

事業名	県民の日記念行事事業費		
細事業名	県民の日記念行事実行委員会負担金	財務コード	119003
担当部課室	企画県民 部 県民生活・男女参画 課 県民生活安全 担当 (内線)		1553

事業の概要

実施期間	始期 S61 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	補助(県民の日記念行事実行委員会)			
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	
	県民	郷土について理解し、その将来について関心が高まっている	郷土愛の醸成	
事業の内容 主にH26年度	事業概要: 県民の日記念行事実行委員会が行う「県民の日」条例に基づく事業に対し、県として負担する。			
	・負担先 県民の日記念行事実行委員会 ・負担率 定額 ・事業内容 交流広場の開催(県・市町村・民間団体等の協力による各種催し) 小瀬会場(2日間) 富士吉田会場(1日) 広報啓発活動の実施(ちらし・パンフレットの作成等)			
		小瀬会場来場者	富士吉田会場来場者	無料開放県有施設利用者数
	H25年度 95,000人	4,000人	19,856人	118,856人
	H26年度 85,000人	4,000人	14,078人	103,078人
根拠法令等	県民の日条例			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 県民の日記念行事来場者及び無料開放県有施設利用者の合計	118,856	103,000	103,078	104,000	104,000	活動指標 目標設定の考え方 来場者数等は、実施日の天候に大きく影響されることから、過去5年の実績値の平均を目標とする。 データの出典等 実績値
	活動指標達成率(実績値/目標値)		100.1 %			
成果指標 県民の日記念行事小瀬会場来場者の内容満足度	85%	83%	83%	85%	85%	成果指標 目標設定の考え方 過去3年の満足度の平均を目標とする。 データの出典等 実績値(来場者アンケート)
	成果指標達成率(実績値/目標値)		100.0 %			
決算額又は予算額	6,580		6,580	6,580	6,580	成果指標によらない成果 小瀬会場の来場者アンケート結果から、来場者の75%が、県民の日記念行事の目的や内容を理解できたと回答していることから、郷土に対する理解と関心を高める成果を上げている。
(千円) うち一財額	1,986		1,893	2,821	2,844	
所要時間(直接分)	5 時間		5 時間	5 時間	5 時間	
所要時間(間接分)	610 時間		630 時間	660 時間	640 時間	
所要時間計	615 時間		635 時間	665 時間	645 時間	
人件費コスト単位:千円 (@2,048円×所要時間)	1,260		1,300	1,362	1,321	

これまでの事業の見直し・改善状況

・平成21年度から平成25年度の間において外部委託を順次進めることにより、職員の業務量の軽減を図るとともに、運営経費の削減を図りながら、企業等の特別出展を推進することにより、独自財源を確保し、平成25年度まで県負担額の縮小を行ってきた。
 ・平成26年度も引き続き、運営経費の削減(事前配布用ちらしを自作し広報経費を削減)を図りながら、企業等の特別出展を推進した。

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定 H26年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H26年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること 県民の日記念行事小瀬会場の来場者アンケートによると来場者の83%が内容に満足していると回答している。(成果指標達成率100%) このことから、来場者は県内で活動する公共性のある団体が行う地域の安全・安心、物産、環境、健康、生活相談等の出展内容に満足し、郷土に対する理解が高まっていると考えられる。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	当事業は、県、市町村、出展団体の負担金で運営されているが、経費の増加等により、単年度収支において支出超過となっている。 今後も一定の規模を確保し、持続可能な事業とするため、出展団体の負担金等、事業の見直しが必要である。	b

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	今後も一定の規模を確保し、持続可能な事業とするため、出展団体に必要な費用負担を求めるとし、テント出店料について見直し、引き上げを行う。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること